



平成 20 年 3 月 27 日

各 位

会 社 名 サイオテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 喜多 伸夫
(コード番号 3744 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員財務経理部長 小林 徳太郎
電 話 0 3 - 6 8 6 0 - 5 1 0 5

親会社等に関する事項について

1. 親会社等の商号等

(平成 19 年 12 月 31 日現在)

| 親会社等 | 属性 | 親会社等の議決権 所有割合 (%) | 親会社等が発行する株券が上 場されている証券取引所等 |
|----------|---------------------------------------|----------------------|-------------------------------|
| 株式会社大塚商会 | 上場会社が他の会社の 関連会社である場合に おける当該他の会社 | 46.0 | 株式会社東京証券取引所 市場第一部 |

(注) 親会社等の議決権所有割合 (%) の表示は、小数点以下第二位を四捨五入しております。

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場企業と親会社等との関係

(1) 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的关系

株式会社大塚商会は、平成 19 年 12 月 31 日現在で当社議決権の 46.0%を所有している筆頭株主であります。同社との取引関係は Java 開発の受託、Linux 関連製品の販売、SI コンサルティングにおけるサポート等であり、平成 19 年 12 月期の連結売上高 5,851 百万円のうち 26.8%にあたる 1,570 百万円を同社に対して売り上げております。また、同社の取締役 1 名および執行役員 1 名が当社の役員を兼任しております。

(役員等の兼任状況)

(平成 20 年 3 月 27 日現在)

| 役職 | 氏名 | 親会社での役職 | 就任理由 |
|-----|-------|---|--|
| 取締役 | 田中 修 | 株式会社大塚商会執行役員 LA 事業部長兼 LA 首都圏営業部長 兼 LA 広域グループ長 | 幅広い IT 関連事業の経験があり、 社外取締役として当社の事業に対 し的確な助言を行うため |
| 監査役 | 若松 康博 | 株式会社大塚商会取締役兼上 席執行役員経理部長 | 経理部門における多くの経験を有 しており、当社監査体制の強化を 図るため |

(2) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスクおよびメリット、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的关系などの面から受ける経営・事業活動への影響等

株式会社大塚商会は、平成 18 年 11 月に親会社から「上場会社が他の会社の関連会社であ

る場合における当該他の会社」になったものの、人的にも取引関係においても同社とは密接な関係にあります。一方では同社以外への販売比率を高め、売上の拡大を図る方針ですが、もし何らかの理由により、同社との連携に問題が生じた場合、或いは同社の経営方針の変更等により、当社への協力体制が変更された場合は、当社グループの業績に大きな影響を与える可能性があります。

- (3) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資金的関係などの面から受ける経営・事業活動への影響等がある中における、親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方およびその為の施策

株式会社大塚商会との関係につきましては、取引条件および取引条件の決定方針等について一般取引条件と同様に決定していることなど、事業運営および取引において自主性、自立性を保っており、現状事業上の制約等はありません。

- (4) 親会社等からの一定の独立性の確保の状況

当社と株式会社大塚商会とは、人的関係・取引関係においては、緊密な関係にありますが、資金調達面や事業運営面での制約はなく、当社の責任のもと意思決定を行っており、経営の独立性は確保されております。

3. 親会社等との取引に関する事項

平成20年1月31日に公表いたしました「平成19年12月期 決算短信」の39ページ「関連当事者との取引」に関する注記をご参照ください。

以上